

界は深く潜行して、大人の目に見えにくくなっているのではないかと心配しています。

警察社会においても、団塊の世代の大量退職による、若い警察官の早期育成が急務となっております。当然民間でも対策を講じられていると思います。若い人がすぐに職場を辞める現実があると聞いています。そんな中で若者から見れば、今の社会は、○若い世代に「心配しなくても将来出世するから」と言って、過度の労働を負担させる時代はとっくに終わっている。○経済の低成長で、若者に低賃金・過労働のしわ寄せがきている。それは、年功序列の恩恵をうけている、地位の高い中高年の既得権を守るためのもので、若者いじめともいえる現象が、顕著である。○若者の過労働は、結局どこかで若者が手を抜くことになる。手を抜くのは仕事だけではなく、社会におけるもう一つの仕事、次世代を育てるといふ、本来若者が持っている役割を放棄することになる。よって、ますます若者が育たない。

中学高校の授業は、いかに効率的に知識を頭に詰め込むか。そしてそれを引き出すかというだけの作業でしかない。受験に関係ない科目や授業範囲はどうでもよく、要領のいい者勝ちの世界である。そしてそこには、「どんな問題にも必ず正答が一つだけ存在する」という大前提がある。マークシート方式のセンター試験や私学の穴埋め問題はこの典型である。

だがこれは少々特殊な世界であります。考えてみれば、実社会では、明快な答えのある問題のほうが少ない。たとえば、自分が何に価値を見出し、どういう仕事をするか、100人に語らせれば、100通りの答えが返って来るだろう。本来ならあるかないかわからない答えを自分で考える、そしてそのための理論を構築する作業が、重要なはずである。この点を鍛えるのは、実社会に入ってからかも知れないが、それでは遅いような気もいたします。この辺で、若者の中には、ドロップアウトするものが居るのかも知れません。

警察は、少年関係では、少年の立ち直り支援という活動もやっております。犯罪を犯した少年を検挙するだけでなく、検挙後のフォローもするというもので、平成23年1月から具体的に始まっています。なかなか難しい課題ですが、立ち直り支援協力会という地元企業の組織を結成し、職場体験や職場見学をしたい少年がおれば、体験させてもらおうと考え

10月の例会案内

2日 第1例会行事 会員卓話「私の健康法」 渡辺佳男会員	9日 ゲスト卓話 「コウノトリの生態飼育」 県自然環境課 木村美貴氏 野坂雄二氏	16日 炉辺会合報告 クラブ運営委員会	23日 米山月間に因んで 米山奨学生 アティッカーウルー氏	30日 職場訪問例会 (株)テクニカフクイ 職業奉仕委員会
---------------------------------------	---	---------------------------	--	--

ております。

少年犯罪は、ほとんどが任意事件です。万引き・自転車盗などで、少年の健全育成を主眼としてやっております。ですから、簡単な犯罪と言っても今後の立ち直りが重要ということになります。厳しく処罰するより、チャンスを与える考え方です。

少年事件では、必ず保護者に引き渡します。いろんな保護者の方がおいでになります。事件の概要を聞くより先、子供を叩く人。涙を流す人。本人の子供は悪くなく周りの友達が悪いという人。そんな中で、警察での帰り道、親子の絆を深めていただければいいと、考えます。

警察官は、そんな親と子供の間にあって事件の説明をし、そして子供に反省を促す、所謂、説教の一つもいたします。若い警察官も一緒です。嫌だと思えます。人生経験も少ない若い警察官は何を言うか。先輩の話聞きながら学んでいくのかも知れません。私は、すぐに身柄を引き取りに飛んできてくれた、親御さんに感謝せよ。とすることにしています。そして、自分一人で大きくなったのではない、と説明します。そして感謝せよと。

どうも子供の健全育成とは、そんなところ、つまり親孝行と感謝の気持ちに集約されていくのかもしれない。しかし非行少年の親を見ますと、親孝行と感謝に値しない人もいるところが、問題かもしれません。

少年や親御さんに話していると、どうも坊さんの説教のような気がすることもあります。そんな話をする仕事を仕事で読けていますと、親御さんから泣きながら、「もっと子供に言ってください。」

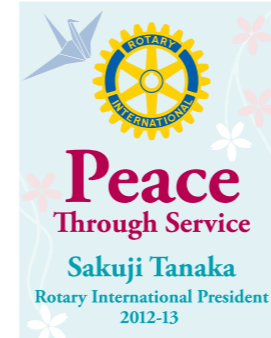
「おまわりさんの言う通りや。」と言われることがあります。あまりに一所懸命言われると、こちらも困ってしまいます。

親の心と子の心、なかなか通じ合わないものだなあ、と実感することもあります。我々みたいにその状況の中で、第三者がはいって、より一層意思の疎通ができるということが、実社会の経験智として感じています。

事件捜査でも協力を願ひ、その他の施策でも協力を願うという実態は、はなはだ身勝手でございますが、なにとぞ今後とも、さまざまな分野でご協力いただきますようよろしくお願いします。

ニコニコ箱 …… 17,000円

- 佐々木会長    ○鎌谷 忠雄    ○倉橋 孝治
- 三村 昌之    ○三嶋 悦子



2012-2013 RI テーマ  
奉仕を通じて平和を



創立/1954年(昭和29年)6月30日  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp  
例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ  
隔たりをなくそう

第2837回 例会記録 平成24年9月25日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員37名  
メイクアップ(前々回) 5名  
出席率(前々回補正) 83.33%  
ロータリーソング「四つのテストの歌」  
ゲスト 越前警察署生活安全課長 古嶋嘉喜雄氏

会長挨拶 佐々木会長



先日のIMの記事が福井新聞に掲載されました。意外と大きく報じられました。第三部の栗田パストガバナーをコーディネーターとしてのディスカッションのみが記事になっていたのは残念でした。

先週中頃からは、最高気温が30℃を切る日々が続いていまして、清々しい秋の気候になってきました。先日、今年の暑さについて調べてきました。気象庁の観測所のうち気温を測定している929カ所を対象に調べてみました。

本年の猛暑日の日数ベスト5ですが、トップは兵庫県豊岡と群馬県館林・埼玉県鳩山・熊谷が32日、次の30日は、群馬県伊勢崎でした。因みに福井県福井で16日でした。2011年夏は今年より5日程少なく、2010年夏は上位10位ぐらひは、7~9日多かったです。猛暑日だけの比較なので何ともいえませんが、一昨年の方が暑かったのです。皆さん覚えていらっしゃいますか。真夏日はベスト10が全て沖縄県内です。

それでは福井県内の主要ポイントでは猛暑日はどうだったでしょうか。小浜20日、福井16日、美浜14日、敦賀12日でした。少ない都市は勝山1日、大野2日、今庄3日という少なさです。県内の30℃以上の真夏日の日数となりますと、50日~70日と猛暑日は格段の差があります。

では、沖縄県の猛暑日の日数はどのくらいあったと思われますか。なんと石垣島の伊原間(いはらま)というポイント

で1日のみでした。ただし真夏日は50~100日程度ありました。那覇は82日でした。那覇より西へ30kmの渡嘉敷島では8日という信じられない少ない日数でした。又、北海道宗谷では真夏日は一週間以内でした。

この猛暑は人類の活動により進む気候変動に起因しています。つい20年前に出された予測よりも状況は悪くなっている、という米航空宇宙局NASAの科学者の見解が先月の米紙ワシントン・ポストに掲載されました。又、先々週のニュースでアメリカの大豆やとうもろこしが不作で、シカゴ先物取引市場の収穫予測で高騰、過去最高を記録したことは大きな話題になりましたね。

今後、気候と生活のかかわりを注視していかなければならないと思いました。

今日の一言:「受けた恩は石に刻め」道元禅師

プログラム

犯罪情勢について

越前警察署生活安全課長 古嶋嘉喜雄氏



現在はずでに高度情報社会に突入しています。情報化社会どころではありません。犯罪捜査も変わってきました。携帯電話のメールの解析、証拠化が重要な仕事になっています。インターネット・スマホ・ソーシャルメディアと、日常会話も変わってきました。たとえば、メールの内容も暗号化しておりその意味を知ることから始まりとなります。KY=空気が読めない。TDL=東京ディズニーランド。TKG=卵かけご飯。IDS=イケメン大好き。KSKY=格さん助さん懲らしめてやりなさい。「オケル」=カラオケに行くこと。「こっさり」=こっそりとあっさりの中間の味。少年たちの世界も、インターネットを通じて地域単位の生活ではなく、全世界を相手にした「毎日が修学旅行状態」になって、その世